

生きている白山に学ぶ水と緑と防災

白山砂防通信



本年もよろしく
お願いいたします

2019. 冬号
VOL.42

手取川源流域「万才谷排水トンネル工事」 を覗いてみよう!

手取川源流域での地すべり対策として、平成26年から行われている「万才谷排水トンネル工事」の様子を動画で見ることができます。動画は『索道工事編』『トンネル工事編』『南竜事務所編』の3編構成になっており、それぞれ違った視点で工事の様子を見ることができます。

「もう一つの白山」甚之助谷地すべり対策万才谷排水トンネル工事
○ 動画紹介 ○

索道工事編



山岳地帯での過酷な状況の中、大型ヘリによる材料搬入の様子など排水トンネル工事の準備工である索道工事の様子を紹介

トンネル工事編



標高2,000mでの排水トンネル工事を掘削開始(平成26年)から貫通(平成28年)まで日夜通して行われる工事の様子を紹介

南竜事務所編



6月残雪のある中、排水トンネル工事の基地となる南竜事務所開所から5ヶ月に及び作業員の日々の様子を紹介

これらの動画は、国土交通省 金沢河川国道事務所(河川)のTwitter(ツイッター)から見るすることができます。Twitterでは記者発表された情報や豪雨時の河川状況をはじめ、手取川と梯川の防災情報やお知らせなども発信されています。興味のある方は、金沢河川国道事務所HP(ホームページ)よりアクセスできますので(下記参照)ぜひツイートを見てみてください。

『河川情報室@金沢河川国道』

(<https://twitter.com/kanazawabousai1>)にて開設中!



カズくん



金沢河川国道事務所ホームページ (HP)



『河川情報室@金沢河川国道』
(ツイッター) トップページ

この欄では近年各地で頻発している土砂災害から身を守るために役立つ知識を順次紹介していきます。シリーズ第2回目は避難方法と日頃の備えについてじゃ！



ハカセ

シリーズ 2 土砂災害から身を守るために

避難方法を知っておこう

前回は土砂災害の前兆現象について紹介しましたが、今回は避難方法についてです。避難方法は土砂災害の種類によって違います。雨が降り始めたら気象情報（ニュースやHPなど）をこまめにチェックし、危険を感じたら早めに避難することが大切です。

⇒土石流
土石流は流れてくるスピードが速い。流れてくる向きに対して直角方向に避難すること。

直角方向に避難するのはなぜか？
みんなわかるかな？

⇒がけ崩れ
がけ崩れは一瞬のうちに起こる。早期の避難が必要。施設外へ避難するときはがけから離れるように避難すること。

避難する方法も大切なんだね。
なるべく早くがけから離れよう。

⇒がけ崩れ、土石流
施設内避難は土砂災害の危険側とは反対側の高層階に避難すること。

どうしても建物の中に避難しないといけない時の避難の方法だよ。

⇒河川付近
川の流れている場所での基本的な避難行動として直角方向に避難すること。

上流で発生した土砂災害によって川の水位が上がると危険な状態になることがあるので、川に沿って逃げるとはとても危険なんだよ。

避難するときは2人以上の移動を心がけよう！

あ、どこが危ないかわかるかな？

車での避難はなるべく避け、2人以上の移動を心がけましょう。

- 移動するときには、
- マンホールのふたさえ持ち上がってしまうことがあるので、落ちないように注意する。
 - 道路と側溝との境は危険なので、なるべく道路の真ん中を歩く。
 - 危険なものもたくさん流れてくるので、注意して歩く。

人は自分の膝くらいの深さの水の中を歩くのが限界です。あわてず落ち着いて避難しましょう。

日頃から備えておこう

土砂災害が起きそうな場所には下の写真のような看板が立てられています。自分の家の近くにあるか調べておきましょう。石川県の土砂災害危険箇所図は、石川県土砂災害情報システム『SABOアイ』（下記参照）で確認できます。日頃から防災用品を用意し、家族や地域ぐるみで山崩れのおそれがある場所や避難場所について話し合うとともに、実際に自分の目で確認しておきましょう。



土石流危険渓流



地すべり防止区域



急傾斜地崩壊危険区域



土砂災害危険箇所図の確認 (SABOアイ)



非常持出袋の用意



防災イベントに参加

詳しくは「石川県 SABOアイ」で検索できます。石川県の土砂災害危険箇所図などが見られます。

石川県 SABOアイ 検索

平成30年度白山砂防女性特派員の活動報告

白山砂防女性特派員とは・・・

金沢河川国道事務所では、土石流などの土砂災害から下流域に住む人々の生活を守るために白山で砂防事業を展開しています。しかし、日常生活の中で砂防事業を知る機会が少ないため、その必要性を実感しづらい面があります。そこで、女性の目線から白山や砂防事業を見て、聞いて、考えていただき、そこで得られた知識を広く情報発信するという目的で設立され、今年度（平成30年）で第16期生となっています。

今年はこれまでの活動に加えて、白山砂防科学館において小学生を対象とした土砂災害啓蒙活動を新たに行いました。

◆ 「土砂災害～みんなの命を守るために～」のスライド説明 ◆

白山砂防科学館へ見学を訪れた小学生を対象に、白山砂防女性特派員が作成した資料「土砂災害～みんなの命を守るために～」をスライドに映して、1回15分程度の説明を行いました。

資料の中に実際に起こった地すべりや土石流の映像を入れ、スライドの画像にあわせて説明することで、子供達は最後まで興味を持って熱心に説明を聞いてくれました。



「土砂災害～みんなの命を守るために～」資料

◆ 「土石流模型実験」の実施 ◆

「土石流模型実験」を白山砂防女性特派員が操作しながら説明を行いました。

この実験は、科学館周辺の地形を再現した模型の中で小さな土石流を発生させるもので、砂防堰堤が上流から流れてくる土砂をせき止め、下流域の施設を守っている様子を確認することができます。

子供達は、土石流の怖さや砂防堰堤が自分たちの命を守っていることを実感していました。



「土石流模型実験」の様子

◆ 活動をふりかえって・・・ ◆

特派員は、初めて人前で話をする者が多く最初は緊張もありましたが、回を重ねるごとに慣れ、子供達にクイズを出題したり、子供達の顔を見て「怖いね～」と共感しながら説明することができるようにまじりました。

特派員にとっても、改めて土砂災害について学びなおす良い機会となりました。今後も、この土砂災害の啓蒙活動を続けていく予定です。



「土砂災害」について説明

◆ 白山砂防女性特派員が出前講座を行います！！ ◆

手取川流域の小学校を対象に、白山砂防女性特派員が小学校に訪問して、近年増加している土砂災害について説明を行います。小学生の皆さんが少しでも土砂災害を身近に感じ、防災の意識をもってもらうことが目的です。

興味のある小学校は、金沢河川国道事務所 流域対策課 までお問い合わせください。

◆ 第17期 白山砂防女性特派員メンバー募集中！ ◆

- ・募集時期 1月下旬～2月20日まで
- ・募集人数 10名程度
- ・募集要件 年齢20歳～65歳までの砂防に興味があり人前で話をする事ができる方
石川県在住で金沢河川国道事務所、白山市白峰にある白山砂防科学館へ平日に集まることが可能な方
パソコン・スマートフォンで連絡などのやりとりが可能な方
- ・任期 1年間（4月～翌年3月）
詳しくは金沢河川国道事務所 流域対策課 までお問い合わせください。

また白山砂防女性特派員の活動の様子は白山砂防HP内にて掲載しています。
「白山砂防女性特派員」で検索してくださいね！

白山砂防女性特派員 検索

ととし
ご応募お待ち
しています！



白山砂防科学館と手取川ダム見学ツアーを開催しました

10月10日(水)「災害から身を守る」をテーマに白山砂防科学館と手取川ダムの見学ツアーが開催されました。



3Dシアター

砂防事業について学ぶ

- Q. もし今、昭和9年の手取川大洪水のような洪水が今起きたらどうなるのですか？
- A. 手取川大洪水時、砂防工事を行っていた基之助谷からの土砂の流出は少なく、砂防工事を行っていなかった箇所から大量の土砂が流出しました。あのような土砂災害を防ぐため、砂防工事や地滑り対策など、さまざまな工事が行われています。

移動中のバスの中では災害が起きた場合の逃げ方や危険信号の見分け方、避難時の服装や行動について学びました。



<一部紹介>



模型でダムの構造について学ぶ

3階の操作室を見学

- Q. もし手取川大洪水のような災害が起きて、土石流が大量に手取川ダムに流れ込んだらダムは埋まらないのですか？ 私達の飲み水は大丈夫ですか？
- A. 土石流を防ぐために継続して砂防工事が行われていますし、もし起きても手取川ダムが埋まるような事はありません。ですから飲み水を供給できなくなるような事はありません。

参加者の声 ツアーを通して私たちの生活を守るためにさまざまな努力がされていることを知りました。安心しました。

「百万貫の岩」見学ツアーを開催しました

11月4日(日) 白山・白峰温泉まつりにおいて「百万貫の岩」見学ツアーを開催し20名が参加しました。

白山砂防科学館で昭和9年の手取川大洪水の3Dシアターを觀賞、土石流の迫りに驚きました。その後手取川大洪水の大きな爪痕である「県指定天然記念物 百万貫の岩」(129万貫、約4839 t)を見学に行きました。岩に直接触れると、その大きさに参加者は「これが3キロも先から流れて来たのか！」「砂防工事は大事だ！ぜひ続けて欲しい！」と驚きの声をあげました。



◆◆ イベントのお知らせ ◆◆

雪だるままつり 2019

白山砂防女性特派員が今年も雪だるまを作ります！

2月8日(金)白峰地区の雪だるままつりに、女性特派員が雪だるまを作ります！午後5時になると雪だるまのローソクに火が灯され、幻想的な景色が広がります。今回で14回目の参加となります。白山砂防女性特派員は白山の自然と人命を守る砂防事業の必要性を次世代に伝えていく活動をしています。どこにあるか探してみてくださいね！



白山砂防科学館・見学のご案内

白山砂防科学館は自由に見学する事が出来ますご希望に応じ解説も致しますのでご相談下さい団体見学の場合は前もってご予約下さい詳しくは白山砂防科学館までお問い合わせ下さい

【問い合わせ先】

白山砂防科学館 入館無料(休館日:毎週木曜日)
TEL 076-259-2990 FAX 076-259-2991

◆編集・発行◆

国土交通省金沢河川国道事務所流域対策課

〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号

TEL 076-264-9913 FAX 076-233-9612

Eメール kanazawa-ryutai@hrr.mlit.go.jp